

プレミアム戦略ファイル『ブレイン』

File 3 :カリスマトレーダー三空氏の あなたも使える！ドル円スキャルピング手法解説

執筆者 三空

平素は、ひまわり証券をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

ひまわり証券では、2011年7月15日(金)～8月15日(月)までの期間、『勝ち組トレーダーの売買手法大公開キャンペーン』を緊急開催することとなりました。閲覧条件を達成されたお客様限定で公開する“プレミアム戦略ファイル『ブレイン』”は4名の人気トレーダーに、ご自身の売買手法を特別に公開いただきます。

お客様におかれましては、ぜひ全レポートをお読みいただき、お好みの売買手法発見にお役立てください。

全4回すべてで閲覧条件を達成され、各回の戦略ファイル上で発表されるキーワードをご回答いただいたお客様には抽選で20名様に「ひんやり冷感クール寝具」をプレゼント！キーワードのメモをお忘れなく！

File3キーワード 『W』



ひまわり証券
sec.himawari-group.co.jp

File 3 :カリスマトレーダー三空氏の あなたも使える！ドル円スキャルピング手法解説



8/1～8/8掲載レポート担当

資産を数10万円から2億5000万円まで増やしたカリスマトレーダー

さんくう

三空 さん

プロフィール

2003年より、数10万円で日本株投資を始め、2004年、2005年の好地合の助けもあり、2008年には資産を2億5000万円まで増やすことに成功。2008年6月からCFD取引を本格的に開始し、2008年10月～11月の1ヶ月間では資産800万円を4,500万円まで増すという実績を残す。現在は、講師として各社のセミナーで講演する傍ら、日々取引をしている現役投資家。

●三空さんのトレードスタイル

・基本情報

取引歴	[FX]2009年6月～ [CFD]2008年6月～ [日本株]2003年6月～ など
元本	60万円
資産	約2億円
手法	スキャルピング、デイトレ
レバレッジ	5倍程度(証拠金1,900万円程度、取引量120万通貨)
取引時間	13:00～翌05:00
通貨ペア	逆張り:ドル円(スキャルピング) 順張り:ユーロ円・ユーロドル・ユーロポンド・ユーロフラン(システムで売買サイン出し)

・相場分析(テクニカル指標)

チャート	ティック・1分・5分・15分・30分・日足
インディケーター トレンド系	ボリンジャーバンド
インディケーター オシレータ系	ADX

・相場分析(ファンダメンタル分析)

- ・ニュースのチェック(RSSでロイター、ウォールストリートジャーナル日本版、個人ブロガー参照)
- ・当日発表の指標チェック

Q FXを始めたきっかけ、勉強は何でしたんですか？

A 株のトレードを6年程度行っていたが、リーマンショックで8,000万円ほど減りやめる。CFDを始め、順張りでNYダウを取引していたが値動きが少なくなり1、2ヶ月でやめる。そんな時、あるトレーダーと24時間トレード対決をやり、FXを覚えてもらうようになったのがきっかけ。のめり込んで現在に至る。次は48時間トレード対決！？笑

Q FX取引で1日の最大利益は！？

A 150万円(3/17 76.30円タッチ後、ボラティリティが高まり、毎回のトレードの平均利益が2倍以上だった)

Q では、その利益で買った(もしくは使った)もので最高額のものとは！？

A 家賃36万円の部屋に住んでいたことがある！ただし、引越直後に自己資産がピークを迎え、1週間くらいたったら2,000万円の損失を被り・・・結局半年で引越しました(敷礼2ヶ月、2ヶ月払ったのに・・・)。

Q 座右の銘は？

A 朝令暮改。
ルールは更新していかなければいけないと考えています。

マル秘売買手法解説

手法自体は、7つくらいありまして、相場状況に応じて使い分けています。
ただ、私はトレード中心の生活をしているので…今回は、主に使っているドル円スキャルピングの逆張り手法概要の他、仕事や家事などの合間にトレードをされている方にも参考にしていただけないかと思うものを、いくつかご紹介し
ます。手法に入る前に、まずはドル円の特徴を押さえておきましょう。

【ドル円の特徴】

ドル円は、一日の動きの中でごく稀に長いトレンドを形成することもあります。ほとんどがレンジ相場内の小さな動きに留まります。1日単位で見ると、月間20営業日中15、6営業日はレンジ相場内の小さな動きです。5、6月のように特にボラティリティに乏しいケースを除けば、ここ最近の一日の平均レンジ幅は、50pips程度と見てよいでしょう。

1 ドル円レンジ相場での逆張り手法

まずは、私が四六時中行っているドル円のスキャルピング逆張り手法の概要をご紹介します！この手法は、上述したドル円の特徴を活かして、短時間の間で細かな売買を繰り返し、利益を積み重ねていくという手法です。狙う利益は、2～5pips程度。あくまでスキャルピングですので、指値やストップの注文を入れることはせず、エントリーはもちろん、利益確定、損切りにいたるまですべて成行で行います。

【売買手順】

- [1] 1分足、ボリンジャーバンド(期間:MA20、上下バンド $\pm 2\sigma$)を表示
- [2] レンジ相場であることを確認し、エントリーの準備を行う
- [3] ボリンジャーバンド上か下のラインにタッチしたら成行でエントリー
- [4] ボリンジャーバンドの真ん中ライン(単純移動平均線)にタッチしたら成行で決済
一度に得られる利益は5pips程度ですが、これを繰り返して利益を積み重ねます

レンジ相場の判断基準

大きな値動きが終わった後、値動きが収縮している時！！

- 17～21時の欧州株式市場が始まり、数時間たった後
 - ロンドンフィックス(日本時間午前0時)以降
- など、明確なトレンドが出ていない状態をレンジ相場と判断します。

ドル円レンジ相場での逆張り手法例



※ひまわりFX PRO ドル円1分足チャート

マル秘売買手法解説

…相場が思惑と“逆”に行ってしまった場合は？

チャートを5分足に切り替え、時間枠を少し広めに見て、難平(ナンピン)します。目標ラインであるボリンジャーバンドの真ん中(単純移動平均線)にタッチしたら決済。

ただし、それでもさらに思惑と逆に行ってしまうようであれば、レンジブレイクし、トレンドが発生している可能性があります。「ん？何か相場の雰囲気が変わった。おかしいゾ！」そう感じた時は、無理をせず早めに損切りをしてしまいます。それを見送って「取り返してやろう」とがんばってしまうと本当に痛い目に遭いますので、断固オススメはできません。

【難平(ナンピン)とは？】

相場が思惑と逆に動いた際、平均約定価格を下げる、もしくは上げることを目的として、ポジションを増やす手法です。例えばドル円80.00円で1万通貨買っているのに79.00円まで下がってしまったとしましょう。この時、79.00円で1万通貨買い増しをすると、平均約定価格は79.50円になります。相場が反転した際、増し玉する前の80.00円まで戻らなくても79.50円で評価損失を0円にすることができ、早めに利益を生み出すことが出来ます。

しかし！！相場が更に逆に動けば損失は倍となり、ポジションが増えた分、証拠金として拘束される資金も増加します。結果、”決済することができない””ロスカットになってしまう”ということが考えられますのでご注意ください。



補足

相場には、ボリンジャーバンドが通用する場面とそうでない場面、またボリンジャーを使うのに適している通貨ペアとそうでない通貨ペアがあります。私の場合、通貨ペアはドル円でしか使用していません。

● ボリンジャーバンドが通用しない相場って？

それなりの頻度で発生します。上がって下がる、もしくは下がって上がる、この一つのセットをこなすのに時間がかかる相場はボリンジャーバンドが通用しにくい相場です。例えば、 -2σ と、 $+2\sigma$ の間を5分間の間に3往復したとします。その間に何度もトレードできますよね？逆に -2σ にタッチしてから $+2\sigma$ にタッチするまで数十分かかることもあります。そういう時はあまりボリンジャーバンドは通用しないですね。時間がかかって仕方ありません。

● 通貨ペアをドル円にしている理由は？

ドルと円は連動することが多く(ドルと円が多通貨に対し、同時に買われたり売られたりしやすい)、値動きがレンジになりやすい傾向にあるからです。ユーロやポンドに円を組み合わせると、トレンドが出来た時にそのまま帰ってこない事も多いので、ドル円でのみ、ボリンジャーバンドを使用して取引しています。

● ADXの活用法は？

ADXは、相場が反転する際の目安程度に使っています。

2 一定時間のレンジ幅をみてエントリーを決定する手法

各通貨ペアには、それぞれ一日の間に動く平均レンジがあります。冒頭で記載したとおり、今年の5、6月のように特にボラティリティに乏しい期間を除けば、ドル円の場合で、50pips位が平均レンジ幅といえます。経験上、このレンジ幅が朝9時～夜11、12時くらいまでの間で20～30pipsしかない場合、以降その日の高値をブレイクすると、そのまま一日の平均レンジ幅である50pipsのラインまで一気に到達するケースが多い。反対に、その時間までに50pips以上の値動きがあった日は、以降それほどの値動きは見込めないケースが多いといえます。今回ご紹介するのは、単純にそのブレイクについていだけ、というシンプルな手法です。命名するなら、「動きが少ない時のレンジブレイク狙い成行買い手法」でしょうか(笑)。

【売買手順】

[1] 朝9時～夜11、12時までのドル円のレンジ幅をチェック

⇒20～30pips程度の値動きしかなければ、エントリーの準備

[2] チャート上で当日の高値と安値にラインを引く

⇒この時表示させるチャートは何分足でも構いませんが、モニターのサイズと相談すると15分以上、30分、60分辺りが好ましいでしょう。

[3] 当日の高値をブレイクした段階で成行買いエントリー

[4] 利益確定目標は、+20～30pips(一日の平均レンジ幅分)

⇒そのままチャートに張り付いて、陰線が出た段階で成行決済

⇒最初のうちは20～30pipsの利確ポイントに指値注文を入れておいても構いません。

慣れてきたらそろそろ止まるかな?というポイントがわかってくるので自然にベストに近い場所で利食い出来るようになると思います。

一定時間のレンジ幅をみてエントリーを決定する手法



※画像はイメージです。

直近のトレードを紹介！

●ドル円レンジ相場での逆張り手法

7月18日(月)～7月22日(金)の5営業日の間に行ったトレードをひとつご紹介します。(前述の①の手法を使いました)

ちなみに、上記期間における全トレードでの **合計損益は、+1,110,779円(92pips)** でした。

● 通貨ペア:ドル円／取引量:120万通貨

78.37買いエントリー 78.43利益確定 ⇒ 利益6pips (+78,000円)

78.38買いエントリー 78.42利益確定 ⇒ 利益4pips (+48,000円)

エントリー&利益確定ポイント



※ドル/円 1分足チャート

ご紹介したとおり、ボリンジャーバンドの下ラインにタッチするあたりで、買いエントリー。そして、真ん中ラインにタッチしたあたりで決済！上記トレードは買い⇒売りというトレードですが、反対に、ボリンジャーバンドの上ラインにタッチしたら買い。真ん中のラインにタッチしたら売り。というトレードも行いながら、細かく売買を繰り返すことで、利益を積み重ねています。

今後のトレードの展望について

私の主な手法はスキャルピングですので、あまり先のことは考え過ぎないようにしています(笑)。ですが、ココは必ず勝負！と決めているのは、

- ・介入がきたらその瞬間にエントリーをする(ドル円)
- ・朝の商いの薄い時間帯の値動きを取りこぼさない(ドル円)

ドバイショック、3月のドル円安値更新の際も朝。朝の商いの薄い時間帯(ダウ引け後や6時くらい)は狙われやすいんです。この時間帯の動きは、ストップ巻き込んでズルズル下げますが、8時、9時くらいには戻る！下がったところで買いを入れておいて、少し寝て起きて利食い！これを取りこぼさないようにしたいと思っています。

FXは、株でいうと同じ銘柄ばかりを追うのと同じことだと思います。株の場合は、展開されるパターンが数パターン。これに対して、FXの場合は、例えばドル円でも単体では動かない。ユーロ円やユーロドルなど他の通貨ペアや色々な要素が絡んで動きます。動きのパターンは、株の比ではありません。このパターンをあらかじめ頭に入れるのに、一日十数時間相場に向かい合って、1年半かかりました(笑)。

自分の得意なパターン、手法を確立するには、トライアンドエラーの時間を圧縮すること重要。システムトレードの要素を取り入れて、試してみたい手法をバックテストするのもひとつでしょう。冒頭に少し触れましたが、こここのところドル円のボラティリティが乏しかったので、最近では逆張りスキャルピングだけではなく、自己開発のシステムにサイン出しをさせて、ユーロ円、ユーロドルなどの順張りトレードも行っています。

相場は常に新しく生まれ変わっています。だからこそ、朝礼暮改！自分自身も常に新しい手法、新しいパターンの認識、新しい挑戦を続けていきたいと考えています。

[閲覧者のみなさまへ]

相場で生き残っている人を見ると、相場が好きで好きで仕方がない人が多いと思います。長く相場をやっていればスランプに陥ったり、大きく負けて凹んだりすることが多々あるでしょう。それでも今までの自分のやってきた事を振り返り、負けを糧に翌日も相場を張る。これが長く続けられる秘訣だと思います。好きこそもの上手なれということわざがあります。まずは色々な本を読んで相場を好きになって下さい。相場好きであれば長く相場を経験することによって腕は後から付いてくると思います。様々な地合いを経験してどんな相場にも対応できる投資家を目指しましょう！

● 三空さんお問合せ先など

ブログ:CFDで世界デイトレ～ダウ先物から原油まで～

<http://finance.toremaga.com/inspecial/39/>

twitter:

<http://twitter.com/39usdjpy/>



『“マナブ式”でFXバイブルを多数執筆！』

サラリーマントレーダー 齊藤学』

次週レポートを担当いたしますのは、“マナブ式”で多数の著書を執筆されている齊藤学さんです。どの書籍も初心者の方から上級者の方まで、幅広い層のトレーダーに支持され、FXの新しいバイブルとして好評を博しています。

サラリーマンとトレーダー、二つの顔を持ち、さらにシステムトレードまでも手がける氏が明かす、裁量・短期トレードの丸秘手法とは！？働くトレーダー必見、次週公開のレポートをお見逃しなく！

次回プレミアム戦略ファイル『ブレイン』閲覧条件

2011年8月1日(月)オープン～8月5日(金)クローズの期間、ひまわりFXレギュラー口座・

デイトレ口座合算で50万通貨以上の取引

公開日:2011年8月8日(月)

■相場状況・分析等の投資情報に関連する記載内容における重要事項

当レポートにおける相場状況・分析等の投資情報に関連する記載内容は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

また、その正確性、信頼性、迅速性を当社が保証するものではありません。

投資の最終決定は、ご自身の判断でお願いいたします。

■お取引における重要事項

取引におけるお申込みの際には、ひまわり証券のガイドブック、口座約款等の取引説明書をよくお読みいただき、仕組み、ルールや商品性を十分ご理解の上、お客様ご自身の判断と責任において取引いただきますよう、お願い申し上げます。詳しくはこちら <http://sec.himawari-group.co.jp/fx/outline/trade/notes/>

■当レポートにおける重要事項

当レポートが提供する各種情報の内容については万全を期しておりますが、その内容について保証するものではありません。従って、これらの情報によって生じたいかなる損害について、ひまわり証券は一切責任を負うことはありませんので、ご了承ください。

また、当レポートのすべての情報について、ひまわり証券の許可なく転載・掲載することを禁じます。